**別紙２**

**清掃参考手順書**

**１　日常清掃**

　　常時，清掃箇所の状況に合わせた種類の薬剤及び濃度（％）を変えた洗浄薬剤を使用すること。

　（１）床面清掃

　　　ア　ハードフロア

　　　　（ア）ダストモップによる除塵

　　　　　出入り口，風除室近くなど外部からの土砂の持ち込みの多い箇所はマイクロファイバーダスタークロスを用いて埃を除去する。それら以外の場所については，マイクロファイバーフラットモップでの除塵と清拭を行う。

　　　　（イ）ウェットモップによる拭上げ

　　　　　　　マイクロファイバーフラットモップを適量濡らし，オフロケーション方式で清拭する。

　　　　（ウ）床面洗浄清掃

　　　　　　　必要に応じて，自動洗浄機や洗剤等を用いて床表面洗浄を行うこと。

　　　　（エ）床面光沢補修

　　　　　ワックス施行対象床において，著しく床面の汚損がある場合は，ワックスの部分的な補修を行う。ノンワックス床材は，自動床洗浄機と専用パッド（ダイヤモンドパット）による洗浄を行い光沢維持に努める。

　　　イ　カーペット

　　　　　真空掃除機を用いて，埃，ごみ等を吸塵する。ただし，病棟においては埃の拡散防止のため，ヘパフィルター付きの掃除機を用いて，吸塵を行うものである。

　　　ウ　正面玄関，通用口等に設置してあるマットの表面及びマット下について，ゴミ，砂，埃等を除去する。

　（２）建具，什器，備品等の清掃

　　　ア　扉，ガラス面，手摺，スイッチ類の拭上げ

　　　　（ア）除菌洗浄剤を含ませたマイクロファイバークロス（以下「クロス」という。）にて一方向で拭上げる。

　　　　（イ）ガラス用洗剤を用いて水拭きを行う。

　　　　 （ウ）不特定多数が手で触る箇所（ドアノブ，取手，手摺，エレベータの操作盤，照明スイッチ等）は重点的に行う。

　　　イ　壁面，腰壁，間仕切り，窓台清掃

　　　　（ア）埃取り等を用いて，埃を極力舞いあげないよう除塵を行う。

　　　　（イ）除菌洗浄剤を含ませたクロスにて一方向で拭上げる。

　　　ウ　什器，備品類拭き清掃（ベッド，床頭台，医療機器は含まない）

　　　　（ア）除菌洗浄剤を含ませたクロスにて，一方向で拭上げ，オフロケーション方式で行う。

　（３）水廻り清掃

　　　ア　衛生陶器，流しの洗浄

　　　　（ア）専用スポンジに中性洗剤を適量散布し，洗浄する。

　　　　（イ）充分に洗剤を流し，クロスにて水気を除去する。

　　　　（ウ）洗浄便座については，ノズル部分等の洗浄を定期的に行い，汚れの無い状態を保つ。

　　　イ　金属部分の磨き，消毒

　　　　（ア）除菌洗浄剤を含ませたクロスにて，一方向で拭上げる。

　　　　（イ）汚れに応じて金属磨き洗剤にて，磨き上げる。

　　　　（ウ）乾拭きを行い，金属光沢を保つようにする。

　　　ウ　鏡の拭き，磨き清掃

　　　　（ア）除菌洗浄剤を含ませたクロスにて，一方向で拭上げる。

　　　　（イ）汚れの状況により専用洗剤にて磨き上げる。

　　　エ　シャワー室，浴室の清掃

　　　　（ア）専用スポンジやブラシに洗剤を付けて，床，壁面，浴槽等を洗浄する。

　　　　（イ）クロスにて，水気を拭上げる。

　　　　（ウ）クロスにて，水栓金具やシャワーヘッドを拭上げる。

　　　　（エ）シャワー室のカーテンについては，適宜拭上げを行い，汚れの無い状態を保つ。

　　　　（オ）シャワーヘッドの分解・清掃（不可の場合は発注者へ交換を依

頼する。）

　　　オ　排水口の清掃

　　　　（ア）排水口のゴミの除去を行う。

　　　 （イ）スポンジやブラシに洗剤を付けて洗浄する。

（ウ）排水が悪い場合は，排水管洗浄剤を入れ排水管内の洗浄を行う。

　　　 （エ）定期的にヘアキャッチャーやストレーナーのゴミを取り除き，洗浄を行う（週１回程度）。

　（４）ガラス洗浄等

　　　ア　ガラス洗浄

　　　　（ア）ガラス専用洗剤を使用し，シャンパー，スクイージーにて洗浄を行う。

　　　　（イ）サッシ類はタオルやウエスで拭上げを行う。

　　　　（ウ）冬期に結露が発生した場合は，吸水シートの設置や回収，必要に応じクロスで拭上げを行う。

　　　イ　網戸の清掃

　　　　（ア）専用洗剤を使用し，シャンパーにて洗浄する。

（イ）乾いたシャンパーで水分を取り，枠，窓台をクロスで拭上げる。

　　　ウ　ブラインド清掃

　　　　（ア）タオルやウエスで除塵及び拭上げを行う。

　（５）その他の清掃

　　　ア　ゴミ箱，汚物入れの清掃消毒

　　　　（ア）ゴミ箱，汚物入れの内容物は袋ごと抜く。

　　　　（イ）ゴミ箱，汚物入れの袋を１枚セットする。

（ウ）衛生陶器，流し等の水廻りに設置してあるゴミ箱，汚物入れは，除菌洗浄剤を含ませたクロスにて拭上げを行う。

　　　イ　消耗品の補充及び交換

　　　　（ア）衛生陶器，流し等の水廻りの消耗品（トイレットペーパー，ペーパータオル等）を使用頻度に合わせ補充する。

　　　　（イ）別途清掃範囲において，消耗品類の各部署への補充及び在庫管理を行う。

　　　ウ　エレベーター籠内の清掃

　　　　（ア）除菌洗浄剤を含ませたクロスにて，壁面，扉，手摺，操作盤，幅木，その他備品等の拭上げを行う。

　　　　（イ）汚れの状況に応じて，金属磨き洗剤，ガラス磨き洗剤等を使用し洗剤拭きを行う。

　　　　（ウ）汚れの状況に応じて，定期的にステンレス部の清掃を行う。汚れがひどい場合は，ステンレスクリーナーにて磨き上げる。

　　　エ　巡回清掃

　　　　（ア）日常清掃実施後に清掃状態の確認を行う。

　　　　（イ）清掃状態に異常がある場合には，日常清掃実施後と同等になるように再清掃を実施する。

　　　オ　臨時清掃

　　　　（ア）清掃中に染みを発見した場合，簡単に取れる染みは染抜き処置を行う。取れない染みがある場合は発注者に報告する。

（イ）発注者の職員の連絡に基づき，吐瀉物，血液等の汚染物質の一次処理後の復旧清掃を行う。

（ウ）院内感染発生の恐れがある場合，発生時の消毒，清掃対応については発注者の指示に基づき，指定された範囲の消毒，清掃を行う。

（エ）荒天時（降雨，降雪）には，外部に接する風除等の清掃を頻回に実施し，利用者の安全を確保する。

（オ）入院患者が退院，転棟及び転室により移動する場合は，日常清掃を行う時間を調整し，当該患者が移動した後に日常清掃を行うこと。

　　　カ　感染症病室清掃

　　　　（ア）感染症病室退室後，次の患者入室までに発注者の指示に従い床面，壁面，立面の消毒清拭を行う。

**２　定期清掃**

　（１）床面清掃

　　　ア　床面の洗浄

　　　　（ア）床面材料に応じた洗剤及びポリッシャー等にて洗浄を行う。

　　　イ　床面洗浄，ワックス塗布清掃

　　　　（ア）床面の除塵を行う。

　　　　（イ）専用洗剤及びポリッシャー等にて機械洗浄を行う。

　　　　（ウ）床用樹脂ワックスを２層塗布する。

　　　ウ　床面洗浄，ノンワックス床光沢復元

　　　　（ア）床面材料に応じた洗剤と専用パッド（ダイヤモンドパッド等）を装着したポリッシャー等による洗浄と磨き作業を行う。

　　　エ　カーペット洗浄

　　　　（ア）掃除機を使用し，丁寧に吸塵を行う。

　　　　（イ）カーペットの状態に応じてウェット，セミドライ又はドライによる洗浄を行う。

　　　　（ウ）作業はカーペットを損傷しないよう細心の注意を払い行う。

　（２）外面ガラス清掃

　　　ア　年に３回（４月，８月，１２月）建物外面のガラス清掃を実施すること。

　　　イ　高所箇所については，高所作業車を使用すること。

　（３）高所除塵

　　　ア　天井，壁の高所，照明器具，標識灯，空調吹出，空調吸入口，備品上部，什器等の除塵清掃を行う。

　（４）ブラインド清掃

　　　ア　ブラインド表面の除塵，洗浄，拭上げ清掃を行うこと。

**３　清潔区域定期消毒業務**

　　ＩＣＵ，ＮＩＣＵなどの清潔区域では，高度な清浄度が必要とされる箇所

であることから，日常的には対応できない天井，壁面，大型機器に至るまで

微細な粉塵の完全な除去や微生物的汚染も考慮した消毒処理を行う。

　（１）高所部，壁面，空調リターン口

　　　ア　除塵作業

　　　　（ア）壁面上部やサイン，モニターをマイクロファイバードライモップで除塵する。

　　　　（イ）空調リターン口をＨＥＰＡフィルター付き真空掃除機で吸塵する。

　　　　（ウ）床面をマイクロファイバードライモップで念入りに除塵する。除塵の際は埃を払うのではなく，ドライモップに吸着させるように乾拭きする。

　　　イ　清拭作業

　　　　（ア）天井面，壁面を加速化過酸化水素又は第４級アンモニウム塩を含む除菌洗浄剤を含ませた不織布で清拭する。ステンレスなどの金属面は，消毒用エタノールを含ませて清拭する。

　（２）床面清掃

　　　ア　洗浄作業（ノンワックス床，ハードフロア他）

　　　　（ア）作業対象範囲の什器，機器を移動させたのち，床面材料に応じた洗浄剤及びポリッシャー等の機器で洗浄を行う。

　　　　（イ）汚水回収後，水拭きで仕上げ乾燥させる。

　　　イ　洗浄，ワックス塗布作業（ワックス施工対象床）

　　　　（ア）作業対象範囲の什器，機器を移動させたのち，床面材料に応じた洗浄剤又は剥離剤及びポリッシャー等の機器で洗浄を行う。

　　　　（イ）汚水回収後，水拭き（剥離作業時は水洗い）を行い，乾燥させる。

　　　　（ウ）抗菌樹脂ワックスを２層塗布する（剥離時は４層塗布する）。